

3 商業

① 学科の紹介と特色



商業に関する学科では、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育成するための教育活動を行っています。

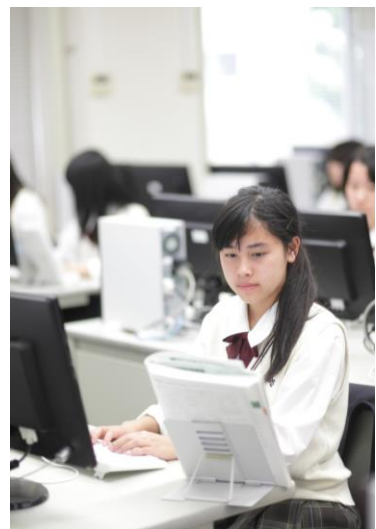
学習内容は、誰もが社会生活を営んでいく上で必要な経済活動の基礎知識から、進学や就職をしたときに、実務に役立つ専門的な知識や技術まで、幅広く、しっかりと確実に学ぶことができます。

また、経済のグローバル化も視野に入れて、コミュニケーション能力や、社会への適応能力の育成にも積極的に取り組んでいます。

商業に関する学科での学習活動は、大学の商学部・経済学部・経営学部などで学ぶ内容の基礎ともなります。

- 【深谷商業高校】商業、情報処理、会計 【岩槻商業高校】商業、情報処理
- 【浦和商業高校】商業、情報処理 【大宮商業高校】商業
- 【熊谷商業高校】商業、情報処理 【皆野高校】商業、情報処理
- 【所沢商業高校】情報処理、国際流通、ビジネス会計
- 【狭山経済高校】情報処理、流通経済、会計
- 【羽生実業高校】商業、情報処理、ビジネス会計
- 【鴻巣高校】商業 【上尾高校】商業
- 【新座総合技術高校】総合ビジネス
- 【越谷総合技術高校】情報処理、流通経済
- 【鳩山高校】情報管理 【八潮南高校】商業、情報処理
- 【鳩ヶ谷高校】情報処理
- 【市立川越高校】情報処理、国際経済

② 学ぶ内容



基礎的科目・総合的科目の他、主に四つの分野Aマーケティング、Bビジネス経済、C会計、Dビジネス情報の各科目を学科のねらいや教育目標に合わせて学びます。各学校の教育課程を参考にしてください。

- 基礎的科目
ビジネス基礎（原則履修科目）
- 総合的科目
課題研究（原則履修科目）、総合実践、ビジネス実務
- A マーケティング分野
マーケティング、商品開発、広告と販売促進
- B ビジネス経済分野
ビジネス経済、ビジネス経済応用、経済活動と法
- C 会計分野
簿記、財務会計Ⅰ、財務会計Ⅱ、原価計算、管理会計
- D ビジネス情報分野
情報処理、ビジネス情報、電子商取引、プログラミング、
ビジネス情報管理

③ 資格取得

学習進度に合わせて専門資格を取得します。また難易度の高い国家資格にも挑みます。



簿記・情報処理・ビジネス文書・商業経済・珠算電卓・英語・ビジネスコミュニケーションなどの検定試験があります。

在学中に全国商業高等学校協会主催の検定において、3種目以上で1級の資格を取得すると表彰を受けられる制度があります。

また、埼玉県では、高校生専門資格等取得表彰奨励事業（知事表彰）があり、商業に関する学科で学ぶ生徒、1,924名が表彰を受けました（平成29年度）。

【参考】

- 国家資格等の取得
 - ・経済産業省（情報処理技術者試験：応用情報、基本情報、ITサポート）
 - ・日本商工会議所（簿記検定1級・2級、販売士2級・準2級）
 - ・実務技能検定協会（秘書2級・準2級）

④ 進路状況

(進学、就職の割合)



卒業後の進路は、進学が大学や専門学校など 約45%、就職が約55%となっています。

大学進学では、全国商業高等学校協会の特別推薦の他多くの大学で商業に関する学科の卒業生を対象とした推薦入試制度が設けられています。

就職に関して商業に関する学科で学んだ生徒は、様々な力を発揮しています。在学中に取得した資格等を生かし、多くの卒業生が事務職・営業職・販売職などの仕事に就いています。

主な就職先は、金融・流通・運輸・製造などとなっています。また、公務員になる生徒もいます。

【参考】主な進路先(過去3年間実績)

進学先(大学)

中央大学、明治大学、法政大学、学習院大学、立命館大学
日本大学、東洋大学、駒澤大学、専修大学、獨協大学 他

就職先

武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、東和銀行、三越伊勢丹、そごう西武、
J R東日本、東京電力、大日本印刷、公務員(東京都、埼玉県など) 他

⑤ 生徒の活躍状況

(部活動を含む)



普通高校と同じように運動部・文化部があり、より上位の大会や入賞を目指して活発に活動しています。

商業に関する学科ならではの部活動として、簿記・情報処理・ワープロ・珠算・電卓に関する部活動などがあります。

商業に関する全国大会・関東大会・県大会などがあります。

(全国大会)

全国高等学校簿記コンクール、全国高等学校情報処理競技大会、全国高等学校ワープロ競技大会、全国高等学校珠算・電卓競技大会、全国高等学校生徒商業研究発表大会、全国高等学校英語スピーチコンテスト

⑥ 商業科で学んだ卒業生の声



○私の入った商学部には必修で日商3級レベルの簿記や、情報基礎、ビジネス数学などがあり、大半が商業高校で学ぶことと重なります。電卓やパソコンを打つことに慣れていると普通科出身の学生と差を付けられるので、商業高校で良かったと感じました。(大学：男子)

○商業高校に入学して良かったと思うことは、多くの資格を取得できたことです。取得資格が多ければ多いほど、就職はもちろん進学でも有利になります。商業高校でしかできないことができたので高校生活が、大変充実していたと思っています。(大学：女子)

○商業科を卒業し就職しましたが、ビジネスマナーや電卓のスキルが役立っていることを強く感じます。仕事をしていく上でも資格取得に向けて努力してきたことが自信につながっています。目標を持ち何事にも全力で取り組むことの大切さを学びました。(就職：女子)

○就職してから感じたのは、商業科で学んだ電卓やパソコンの活用技術が即戦力として役立っていることです。また、検定などの資格取得に積極的に挑戦した経験が、何かに挑戦したいと考える前向きな気持ちとして継続していることも大きなことです。(就職：男子)

⑦ その他

(全国大会等への出場、受賞など)



○商業を学ぶ生徒を対象とした競技会への出場

(カッコ内団体名は、県代表校：平成29年度)

全国高等学校簿記コンクール(団体：深谷商業・熊谷商業、個人2名)

全国高等学校情報処理競技大会(団体：深谷商業、個人2名)

全国高等学校ワープロ競技大会(団体：熊谷商業、個人1名)

全国高等学校珠算・電卓競技大会

(珠算団体：伊奈学園総合、個人6名、電卓団体：熊谷商業、個人6名)

全国高等学校英語スピーチコンテスト

(レジェーションの部：所沢商業1名、スピーチの部：久喜北陽1名)

全国高等学校生徒商業研究発表大会(関東大会：浦和商业)